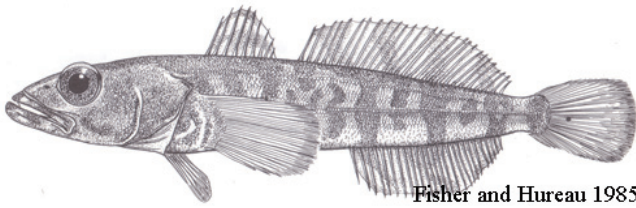


マジェランアイナメ 南極海

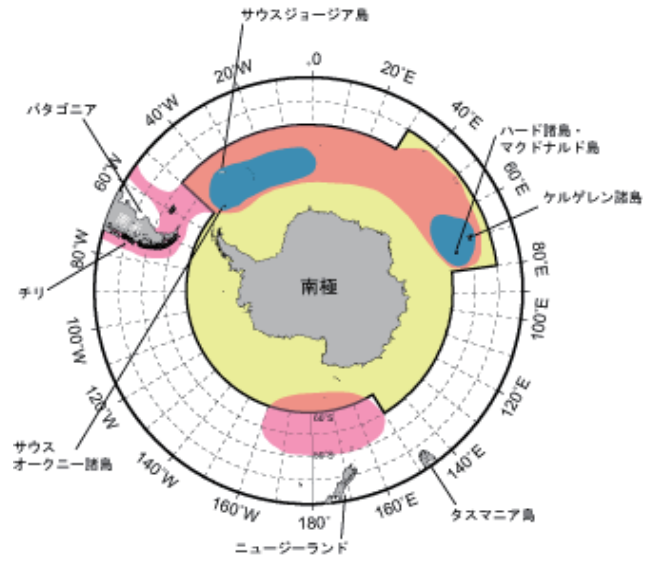
Patagonian Toothfish, *Dissostichus eleginoides*



Fisher and Hureau 1985



CCAMLR HP(C)B. Watkins



CCAMLR 水域(黄色)と本誌源主分布域(ピンク)、主漁場(青)

管理・関係機関

南極海洋生物資源保存委員会 (CCAMLR)

最近一年間の動き

CCAMLR 保存措置に基づく 2005/06 年漁期は、7つの開発漁業を含む 12 の漁業が実施された。メンバー国の EEZ 内では他の漁業が実施された。CCAMLR 水域内のメロ類の報告漁獲量は 16,843 トンで、IUU (違法・無規制・未報告) 漁獲量 3,420 トンを含めると総漁獲量は 20,263 トンとなる。前年 2004/05 漁期の総漁獲量 18,321 トンを上回った。これまで本漁業に対して IUU 操業による推定漁獲量が多く、資源状態に悪影響を及ぼしていることが強く懸念され、管理措置上にも大きな問題を抱えていたが、CCAMLR は IUU 操業に対する強い対策を講じ、2002/03 漁期 10,070 トンから 2003/04 漁期 2,622 トンおよび 2004/05 漁期は 2,076 トンへと激減した。しかし、2005/06 漁期は 3,420 トンと前漁期に比べて増加となった。

生物学的特性

- 寿命：約 50 年
- 成熟開始年齢：6~9 歳
- 産卵期・産卵場：6~9 月、南極周辺海域の陸棚斜面水域
- 索餌場：南極周辺海域の陸棚斜面水域
- 食性：オキアミ類、魚類、イカ類、甲殻類
- 捕食者：海産哺乳類

利用・用途

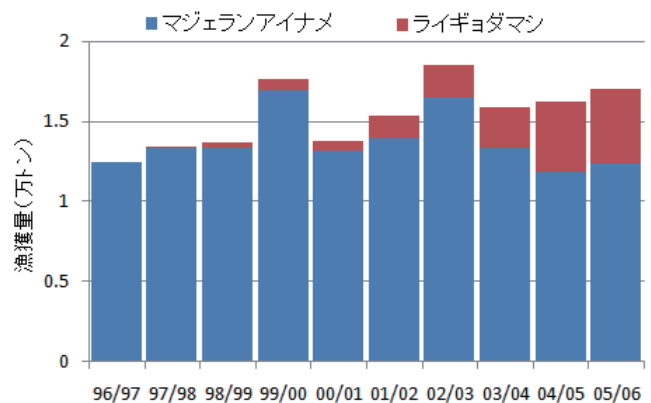
冷凍切身(総菜用)、みそ漬けなどの加工品

漁業の特徴

本資源対象の漁業の始まる前、魚類対象のトロール漁業が 1970 年頃からサウスジョージア水域、ケルゲレン諸島水域で行われていた。その漁場は 1977/1978 年以降、サウスオークニー諸島水域の高緯度域へ拡大したが、高い漁獲量は長く続かず、1980 年代初期に急減した。その後、代替としてマジェランアイナメとライギョダマシが対象の底はえ縄漁業がサウスジョージア水域、ケルゲレン諸島水域及び南極大陸周辺の陸棚域で始まった。

漁業資源の動向

CCAMLR が行っている漁獲証明制度から算出した 2005/06 漁期の全体のマジェランアイナメ(ライギョダマシ含む)の総漁獲量は、30,053 トン(2004/05 期 31,168 トン)である。CCAMLR の枠組みの下で操業している漁船による報告漁獲量は、16,843 トン(2004/05 漁期 16,250 トン)である。CCAMLR 水域外からの漁獲報告量が 9,790 トン(2004/05 漁期 12,847 トン)、CCAMLR 水域内の IUU 操業の推定量は 3,420 トン(2004/03 漁期 2,076,622 トン)と見積られた。IUU による漁獲量は、前漁期に比べて小幅の増加となった。



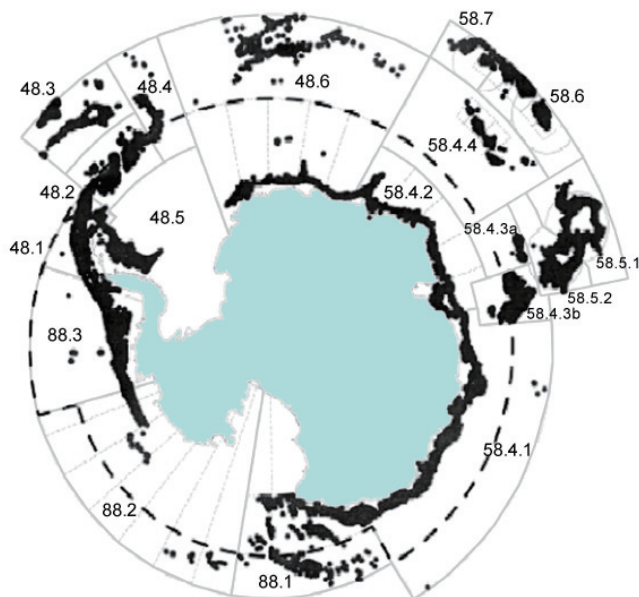
南極海 CCAMLR 水域内のメロ類漁獲量の変化(1996-2006)

(CCAMLR 2007)

メ口類の 2005/06 年漁期の漁獲量 (CCAMLR 2007)

IUU(違法・無規制・未報告) 漁獲推定量及び漁獲証明書(CDS)に基づく CCAMLR 水域外報告漁獲量を含む。

Inside	Subarea/division	Reported catch	IUU catch	Total CCAMLR	Catch limit
	48.3	3 535		3 535	3 556
	48.4	19		19	100
	48.6	163		163	910
	58.4.1	421	597	1 018	600
	58.4.2	164	192	356	780
	58.4.3	449	1 903	2 352	550
	58.4.4	0	104	104	0
	58.5.1	5 156	144	5 300	0 outside EEZ
	58.5.2	2 528	74	2 602	2 584
	58.6	801	55	856	0 outside EEZ
	58.7	124		124	0 outside EEZ
	88.1	2 969		2 969	2 964
	88.2	514	15	529	487
	88.3	0		0	0
	Unknown		336	336	0
	Total inside	16 843	3 420	20 263	
Outside	Area	CDS catch EEZ	CDS catch high seas	Total outside CCAMLR	
	41	1 986	3 179	5 165	
	47		230	230	
	51	3		3	
	57			0	
	81	407		407	
	87	3 985	0	3 985	
	Total outside	6 381	3 409	9 790	
	Global total			30 053	



マジェランアイナメ・ライギョダマシの新規・開発漁業の際に義務付けられる小規模調査ユニット枠

影の部分は、両種の主棲息深度 500~1,800mの陸棚斜面域。太破線は二種の区分線で、北側域；マジェランアイナメ、南側域；ライギョダマシ (CCAMLR 保存管理措置)

資源状態

CCAMLR 水域全体での資源量調査は行われていないが、本種の主な分布域が陸棚・陸棚斜面域であることから、右下図に示された生息海底深度面積と生物データの組合せで水域ごとに資源量を毎年推定している。そのような推定を積算し、全体の推定資源量としている。

管理方策

CCAMLR の科学委員会の魚類資源評価作業部会が、魚類の資源管理のための科学的検討を行っている。検討方法は海

区により異なり、漁獲量と CPUE の動向から判断するか、資源動態モデルによるシミュレーションで判断する。その結果、CCAMLR が管理措置として取り決めた、2007/08 漁期 (同前年 2006/07 漁期) におけるマジェランアイナメ (一部ライギョダマシ含む) の漁獲制限量は、48.3 海区 (サウスジョージア島水域) 3,920 (3,554) トン、48.6 海区 (大西洋区) 200 (910) トン、58.4.1 海区 (インド洋区) 600 (600) トン、58.4.2 海区 (インド洋区) 780 (780) トン、58.5.2 海区 (マクドナルド・ハード島水域) 2,500 (2,427,584) トン、88.1 海区 (太平洋区) 2,700 (3,032) トン、88.2 海区 (太平洋区) 567 (547) トン等となっている。

資源評価まとめ

- CCAMLR 科学委員会の魚類資源評価作業部会で検討を実施
- 資源は中位水準、横ばい

資源管理方策まとめ

- CCAMLR が毎年の漁獲報告データに応じて、その都度、漁獲制限量を算出
- 漁獲制限の取り決めのない領海区では禁漁措置

マジェランアイナメ (南極海) の資源の現況 (要約表)

資源水準	中位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	CCAMLR 水域 1.2~1.4 万トン 平均: 1.3 万トン 世界全体: 2.1~3.5 万トン 平均: 2.7 万トン
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	CCAMLR 水域 1~262 トン 平均: 96 トン